

平成31年度事業計画

平成30年の「敬老の日」を迎えるに際し、総務省統計局が9月15日現在で取りまとめた結果によると、総人口に占める高齢者人口の割合は65歳以上28.1%、75歳以上で14.2%と過去最高となっており、女性の高齢者人口が初めて2,000万人を超えました。

加東市（9月30日現在）では65歳以上が26.1%、75歳以上が13.2%と国よりは幾分か低い高齢化率となっていますが、いずれも超高齢社会であることに違いはありません。

こうした中で、生涯現役社会を実現するため、働きたいと願う高年齢者の就業率を高めていくことが重要であり、この担い手であるシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっています。

私たち、公益社団法人加東市シルバー人材センターは、「自主・自立、協働・共助」理念のもと、会員である定年退職者等の希望に応じて就業の機会を提供し、生きがいの充実、社会参加の促進を図り、高年齢者の能力を生かした、活力ある地域社会づくりに貢献していかなければなりません。

一方で、現役世代の減少による人出不足から、定年廃止または継続雇用の延長等や外国人労働者の受け入れなど、高年齢労働者を取り巻く環境も大きく変化してきており、克服しなければならぬ様々な事態が発生しています。

これらを踏まえ、以下の事項に積極的に取り組み、諸課題の解決に努めます。

また、別表に平成31年度事業の開拓目標を掲げています。

1 会員の拡大と女性会員入会促進の取組

新規入会者は70歳以上が多く、結果、会員の平均年齢は毎年上昇の一途です。

会員数もピーク時の約8割程度で、「仕事はあるが受注できない」状態が常態化しており、最優先に会員確保の新たな手法を検討する必要があります。

募集チラシ、市広報や新聞等を活用しての発信だけではなく、会員と事務局が丸となって口コミや勧誘等で新規入会者を増やす活動を推進します。

また、国も女性の入会率が低いことから、女性会員増加に対する補助金制度を整備しており、今後の活動を活性化するためにも女性目線が大切であるとの認識のもと女性理事を増やし、女性高年齢者が魅力を感じて入会できる方策を探り、女性会員の入会を促進します。

2 地域社会が期待する業務の新規開拓と積極的な受注の取組

国は、高年齢者の増加割合に対し、シルバー人材センターの会員が増加しないのは、団塊の世代が望んでいる仕事を提供されていない、つまり魅力を感じていないのではないかと分析しています。

その課題を解決するため、受注する内容については、就業する会員の安全と適正さを優先的に配慮しつつ、地域社会が期待する新たな業務を開拓し、かつ、積極的に受注していくよう推進します。

3 安全就業の取組

安全・適正就業委員会が策定した安全就業対策実施計画に基づき、安全就業を推進します。

「安全就業対策実施計画」

(1) 計画の目標

- ①就業中の傷害事故や損害賠償事故発生の根絶をめざす。
- ②就業中および就業途中での交通事故の根絶を推進する。
- ③会員の健康維持増進を積極的に推進する。

(2) スローガン

「**気をつける 慣れた作業と 気のゆるみ**」(加東市シルバー人材センター)

(3) 主要な安全就業対策の推進

安全・適正就業委員会による安全就業対策実施計画の策定と実施、毎月発行の「加東市シルバー便り」等で安全・適正就業を啓発し、無事故の加東市シルバー人材センターをめざさなければならない。

従来、実施してきた作業現場単位の安全就業の管理から、組織全体を対象とする危機管理の追及が求められる。このような観点から、平成31年度の取組として、安全就業対策実施計画の目標達成に向け、着実に実施していく。

①安全就業の管理体制の確立と管理活動の活性化、定着化

- ア. 安全・適正就業委員会による安全対策会議の開催。
- イ. 事業活動と一体となった安全就業管理計画の作成及び計画的な実施。
- ウ. 職群班の班長等による安全就業の管理と点検の推進。
- エ. 運転免許の更新時期や自賠償・任意保険加入状況の確認。

② 就業の適正化に関する基準等の活用

- ア. 安全・適正就業委員会専門委員会で、問題が生じた場合の措置について協議を行い、発注者の信頼確保と会員の健康等を管理

③安全教育の実施

- ア. 毎月実施している入会説明会での安全就業等の指導。
- イ. 安全就業に対する講習会等の実施。
- ウ. 作業安全・交通安全等の啓発活動。

④危機管理の強化と安全意識の高揚

- ア. 毎月、配分金通知に同封している「加東市シルバー便り」による事故防止の啓発。
- イ. 安全・適正就業委員会による事故事例の分析、具体的な事故防止対策の策定及び周知、徹底。
- ウ. 現場下見や打合せ等による就業可能かどうかの見極めの実施。
- エ. 「安全就業推進強化月間」の設定と現場安全パトロールの実施。
※全シ協・兵シ協が進める7月1日から7月31日までの安全就業強化月間に、安全・適正就業委員等による安全パトロールを実施。
- オ. 「事故ゼロ運動」表示板の活用。
- カ. 安全祈願の実施。

⑤保安用具の購入、貸与とその着用状況の確認、保護具等の耐用年数や保守管理体制の充実。

⑥健康の維持増進対策の推進

会員の健康を維持増進していくため、心身両面にわたるトータルな健康づくりの促進を行う。

ア. 健康状態（心身の機能の変化等）を把握する。

イ. まちぐるみ総合検診や人間ドック等の受診の奨励、促進。

ウ. 健康に関する情報の提供

4 高年齢者の就業に関する情報の収集・提供および調査研究の取組

（公社）全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）や（公社）兵庫県シルバー人材センター協会（以下「兵シ協」という。）、関係行政機関から発信される就業関連情報を収集し、年一回発行の会報誌や月一回発行のシルバー便り等に掲載し、会員へ、適時、情報の提供を行います。

また、全シ協、兵シ協他が開催する会議・研修会等や東播ブロック等の近隣センターで得た情報の分析・研究を行い、適切かつ円滑な事業運営を推進します。

5 高年齢者に対する就業相談の実施ならびに就業機会の確保および提供の取組

仕事と就業希望会員のミスマッチを解消するため次の相談業務を行います。

（1）会員・未就業会員の就業相談・就業情報提供を随時行う。

（2）入会希望会員の就業相談を、入会説明会時も含め、随時行う。

また、地域社会に密着した仕事を、加東市等の公共・公的団体や民間事業所・団体および一般の家庭等から受注・確保し、会員それぞれの適正に合わせ、組織的に提供します。

6 高年齢者等に対する講習会等開催の取組

会員や地域の高年齢者の就業に必要な知識や技能の習得を目的とした、兵シ協等やセンター主催の講習会等を企画・開催します。

7 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施。

兵シ協が実施する一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者にシルバー派遣事業を実施します。

8 経営安定化に向けての取組

経費の見直しなど、運営費の効率化を進め、財政基盤の確立に努めます。

9 会員の親睦および相互共助ならびにセンター発展のための取組

会員の親睦および相互共助ならびにセンター発展に寄与する目的で、互助会事業を推進します。

平成31年度 事業の開拓目標 シルバー請負等事業

区分 職業分類	仕事の内容	公共事業		民間事業	
		延人員 (人)	事業収入 (千円)	延人員 (人)	事業収入 (千円)
事務的職業	市受付・筆耕 一般事務 宛名書	823	4,857	986	5,228
サービスの職業	夜間管理・施設管理 管理室受付	1,380	5,488	1,561	5,938
農林漁業の職業	剪定・育苗作業・日役 農作業補助・公園管理	1,577	12,798	1,526	13,155
生産工程の職業	検品作業・溶接 組立加工	2	7	1,369	8,132
輸送・ 機械運転の職業	学校給食配達 送迎バス運転	617	4,254	0	0
建設・採掘の職業	発掘・左官業	318	3,102	6	52
運搬・清掃・包装 等の職業	草刈・草引き・清掃 包装・苗配達	16,817	88,543	20,903	110,906
合 計		21,534	119,049	26,351	143,411
		就業延人員(人) 47,885		総事業収入(千円) 262,460	

シルバー派遣事業

区分 職業分類	仕事の内容	公共事業		民間事業	
		延人員 (人)	事業収入 (千円)	延人員 (人)	事業収入 (千円)
専門的・技術的職業	パン製造業務	0	0	195	1,049
事務的職業	高年齢者就労相談業務	0	0	37	228
販売の職業	スーパーの品出し、店舗管理	0	0	688	4,317
運搬・清掃・包装 等の職業	清掃・工場内軽作業等	0	0	1,380	9,606
合 計		0	0	2,300	15,200